

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）」は、このたび、第107期の決算を行いました。

当ファンドは、高金利通貨マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

プレミアム・カレンシー・オープン （毎月決算型） （愛称 金利の羅針盤）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2016年12月21日～2017年6月20日

交付運用報告書

第102期（決算日2017年1月20日） 第105期（決算日2017年4月20日）

第103期（決算日2017年2月20日） 第106期（決算日2017年5月22日）

第104期（決算日2017年3月21日） 第107期（決算日2017年6月20日）

第107期末(2017年6月20日)

基準価額	5,114円
------	--------

純資産総額	138百万円
-------	--------

第102期～第107期

騰落率	1.5%
-----	------

分配金(税引前)合計	180円
------------	------

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

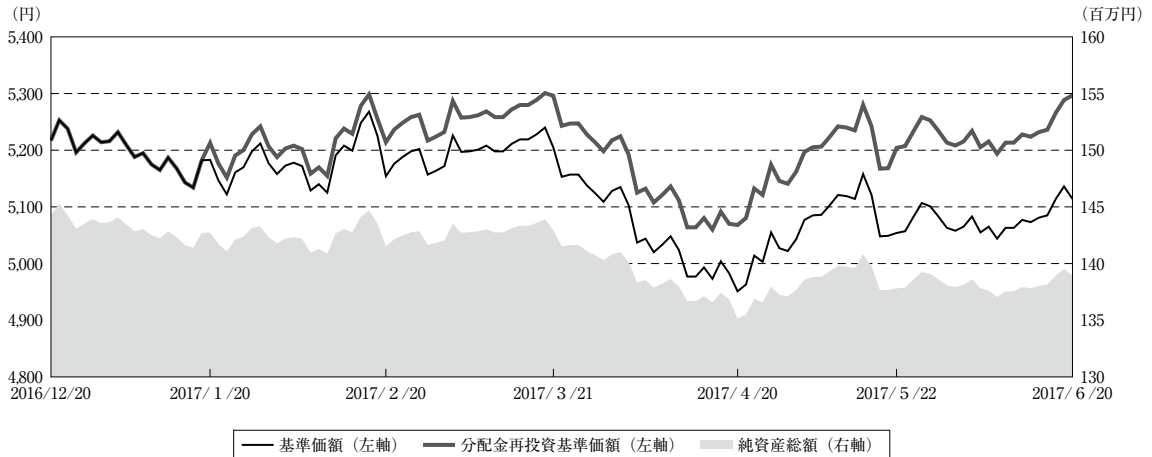
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2016年12月21日～2017年6月20日）



第102期首：5,217円

第107期末：5,114円（既払分配金（税引前）：180円）

騰落率：1.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年12月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・メキシコを除く投資国の債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。また、メキシコについても、利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したものの、価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。
- ・メキシコペソ、ポーランドズロチが対円で上昇したことがプラスとなりました。

（主なマイナス要因）

- ・ニュージーランドドル、シンガポールドルが対円で下落したことがマイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2016年12月21日～2017年6月20日）

項目	第102期～第107期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 26	% 0.501	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(12)	(0.237)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(12)	(0.242)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.089	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.082)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合計	31	0.590	
作成期間中の平均基準価額は、5,128円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

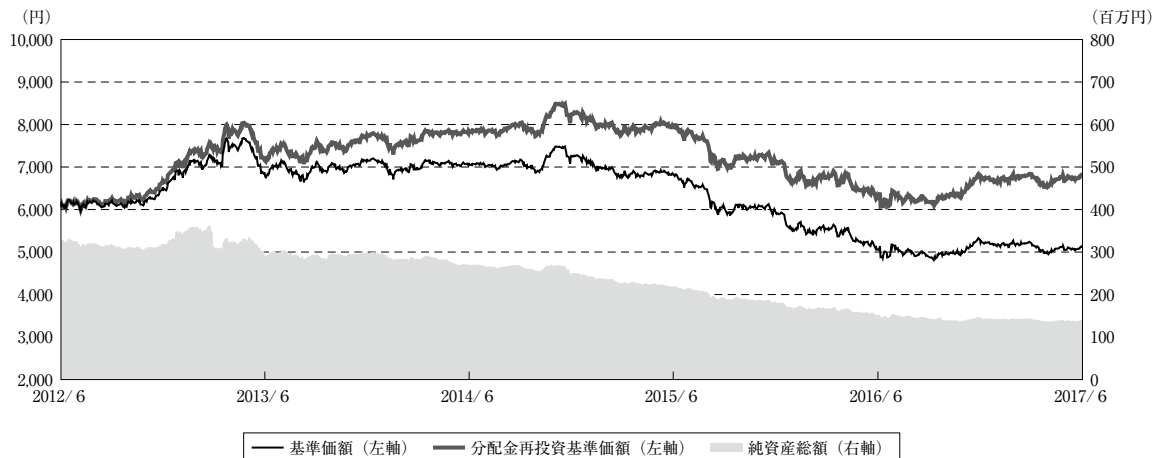
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2012年6月20日～2017年6月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年6月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年6月20日 期初	2013年6月20日 決算日	2014年6月20日 決算日	2015年6月22日 決算日	2016年6月20日 決算日	2017年6月20日 決算日
基準価額 (円)	6,084	6,773	7,046	6,787	5,063	5,114
期間分配金合計(税引前) (円)	-	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	17.5	9.5	1.4	△20.6	8.4
シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	-	26.8	12.8	14.2	△11.3	5.2
GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・デバースファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	-	26.5	9.1	8.1	△16.4	17.5
純資産総額 (百万円)	328	291	269	217	151	138

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・デバースファイド指数（円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

（2016年12月21日～2017年6月20日）

債券市場は、トランプ米政権が掲げる経済政策の実施が遅れるとの思惑や、米国の利上げが緩やかなペースで実施されるとの観測を背景に、米長期金利が低下した影響を受けて、投資国の多くで債券利回りが低下しました。ただ、メキシコについては、同国中央銀行が段階的に利上げを実施した影響から、債券利回りが上昇しました。

為替市場は、トランプ米政権の政策運営に対する懸念や地政学リスクの高まり等を背景に、2017年4月中旬にかけて、投資通貨の多くが対円で軟調に推移しました。しかし、欧州の政治リスクが後退すると、投資通貨は対円で反発しました。一方、メキシコペソについては、同国中央銀行の段階的な利上げや北米自由貿易協定の維持を背景に、対円で概ね上昇基調を辿りました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年12月21日～2017年6月20日）

<プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）>

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○高金利通貨マザーファンド

（債券組入比率）

当作成期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（通貨別投資比率）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、投資比率を変化させました。また、南アフリカについては、一部格付け会社が外貨建て長期債務格付けを投資不適格級へ引き下げたことから、南アフリカランドに対して一時的に為替ヘッジを行った後、保有債券の売却などの対応を図り、組入比率を引き下げました。当作成期間はメキシコペソやポーランドズロチの比率を比較的高位としました。

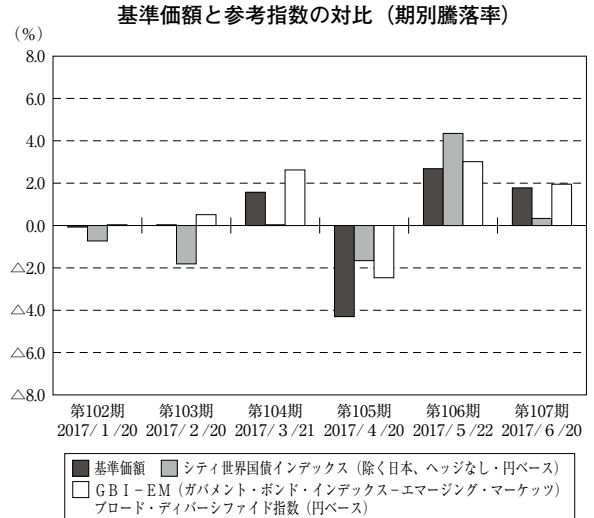
（国別投資比率および年限別投資配分）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの国債に投資しました。当作成期間におきましては、メキシコ国債やポーランド国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年12月21日～2017年6月20日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
 (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ダイバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2016年12月21日～2017年6月20日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、第102期から第107期の各決算期に、それぞれ1万口当たり30円（税引前）、合計180円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2016年12月21日～ 2017年1月20日	2017年1月21日～ 2017年2月20日	2017年2月21日～ 2017年3月21日	2017年3月22日～ 2017年4月20日	2017年4月21日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	30 0.575%	30 0.579%	30 0.573%	30 0.602%	30 0.590%	30 0.583%
当期の収益	18	18	21	14	18	18
当期の収益以外	11	12	8	15	11	11
翌期繰越分配対象額	518	506	497	482	470	458

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

債券市場につきましては、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の正常化に向けた動きが概ね見通せるようになり、投資家のリスク志向の積極化が予想されることや、米国の物価上昇圧力の鈍さが意識され、米長期金利が上昇しにくい状況が続くと見込まれることから、比較的債券利回りの高い投資国を中心に、利回りに低下圧力が残る展開が想定されます。

為替市場については、世界的な景気回復期待を背景に、投資家心理の良好な状態が続くと予想されることや、日銀の金融緩和政策に支えられ、高金利通貨を中心に投資通貨が対円で底堅く推移すると見えています。

（運用方針）

<プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

○高金利通貨マザーファンド

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、メキシコペソやポーランドズロチの比率を高め維持する方針です。

お知らせ

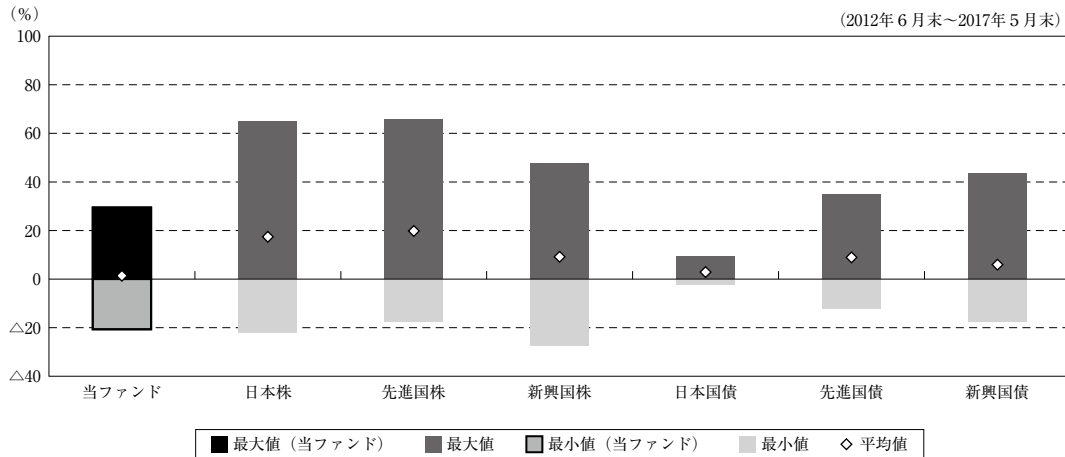
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年6月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。
	高金利通貨マザーファンド	通貨の選定に当たっては、投資対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し決定します。なお、投資対象国の金利水準、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し、必ずしも選定通貨が8通貨とまらない場合もあります。また選定通貨の見直しは適宜行います。 ポートフォリオ全体のデュレーションは、原則として1年程度以内を基本とします。ただし、市場環境が大幅に変化した場合等には、1年程度以内とまらない場合があります。
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.5	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△20.6	△22.0	△17.5	△27.4	△2.4	△12.3	△17.4
平均値	1.3	17.3	19.8	9.1	2.8	8.9	5.9

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2012年6月から2017年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2017年6月20日現在）

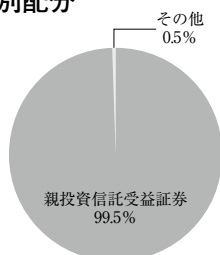
○組入上位ファンド

銘柄名	第107期末
高金利通貨マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

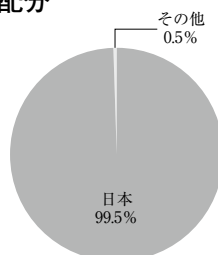
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

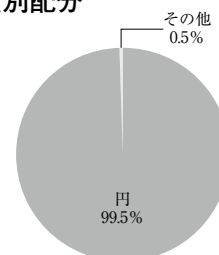
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

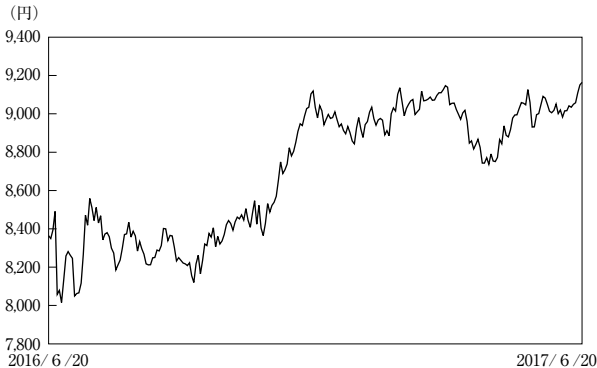
項目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2017年1月20日	2017年2月20日	2017年3月21日	2017年4月20日	2017年5月22日	2017年6月20日
純資産総額	142,724,268円	141,545,851円	142,935,828円	135,149,975円	137,810,966円	138,924,489円
受益権総口数	275,380,000口	274,630,000口	274,630,000口	272,980,000口	272,680,000口	271,680,000口
1万口当たり基準価額	5,183円	5,154円	5,205円	4,951円	5,054円	5,114円

（注）当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は4,900,000円です。

組入上位ファンドの概要

高金利通貨マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年6月21日～2017年6月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	18 (17)	0.202 (0.197)
(その他)	(0)	(0.005)
合計	18	0.202

期中の平均基準価額は、8,677円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

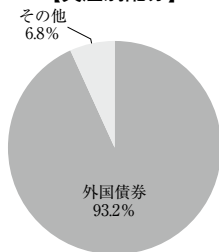
【組入上位10銘柄】

(2017年6月20日現在)

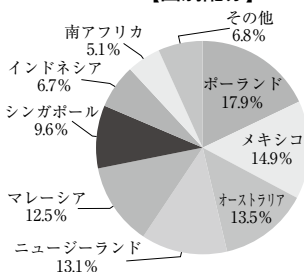
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 POLAND GOVT BOND 3.75	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	17.9
2 MEXICAN BONOS 7.75	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	14.9
3 AUSTRALIAN GOVT. 4.25	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	13.5
4 NEW ZEALAND GVT 6	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	13.1
5 MALAYSIA GOVT 4.012	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	12.5
6 SINGAPORE GOV'T 0.5	国債証券	シンガポールドル	シンガポール	9.6
7 INDONESIA GOV'T 10	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	6.7
8 REP SOUTH AFRICA 8.25	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	5.1
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数			8銘柄	

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

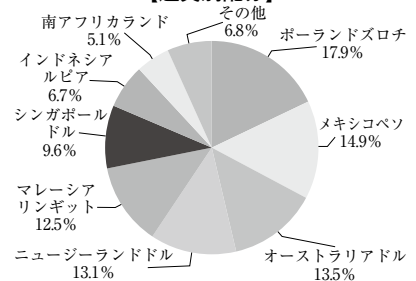
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 通貨別配分については、組入債券の通貨別比率を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<当ファンドの参考指数について>

G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。